

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	釧路港における安全で利便性の高い物流ネットワークの形成														
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	釧路市														
計画の目標	釧路港と背後圏を繋ぐ主要なアクセス道路の改良により、利便性の高い物流ネットワークを形成する。														
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		168	A	168	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	臨港道路の更新率を0%（R2）から100%（R6）にし利便性を向上させる。 臨港道路の更新が必要な部分の対策済となった割合を算出する。 更新が必要な部分の対策率（%）＝（対策済み延長（m）／計画期間内の更新の必要な延長）×100	0%	41%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	東跨線橋通改良	伸縮装置取替 1 式 実施設 計 1 式	釧路港・西港区						42		策定済
	令和 4 年度以降、他事業へ移行																		
	A02-002	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	西港道路改良	L = 1,180m	釧路港・西港区						126		策定済
											小計						168		
											合計						168		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
所管部署により評価を実施。	事業完了後
	公表の方法
	評価完了後、釧路市ホームページに掲載。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業実施により危険箇所・区間が解消され、健全かつ安全な港湾環境が形成された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	施設の機能回復により利用者の利便性が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
臨港道路を整備することにより、機能回復を図り、健全かつ安全で利便性の高い物流ネットワークを形成する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	